

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
龍馬デザイン・ビューティ専門学校		平成4年2月17日		中西 康廣		〒 780-0935 (住所) 高知県高知市旭町2-22-58 (電話) 088-875-0099		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人龍馬学園		平成1年3月23日		佐竹 新市		〒 780-0056 (住所) 高知県高知市北本町1-12-6 (電話) 088-825-0077		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
工業	工業関係専門課程		グラフィックデザイン学科		平成 7(1995)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的		マーケティングのシーンでは、顧客に“いかに買いたいと思ってもらうか？”という消費者側の視点が必要不可欠であり、そこには必ず視覚的に情報を伝える広告の効果が求められる。本学科では、創造力、企画力、デザイン力、プレゼン力を備え、実社会で効果的な広告制作が出来るグラフィックデザイナーの養成を目的としている。						
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格 等)		グラフィックデザイン分野における専門的知識および技術の修得に加え、実社会における実践的な学びの機会を重視した教育を展開している。特に、企業および現役で活動するデザイナーとの連携による授業を通じて、実務に即した課題に取り組み、企画力・表現力・課題解決能力の向上を促進するとともに、グラフィックデザインの本質的理解を深めることを目的としている。 ●Illustrator®クリエイター能力認定試験●Photoshop®クリエイター能力認定試験●色彩検定●屋外広告物講習会修了証						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,146 単位時間	460 単位時間	96 単位時間	1,590 単位時間	0 単位時間
				単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)		中退率
80 人		76 人		0 人		0 %		5 %
就職等の状況		■卒業者数 (C)		37	人			
		■就職希望者数 (D)		33	人			
		■就職者数 (E)		32	人			
		■地元就職者数 (F)		25	人			
		■就職率 (E/D)		96	%			
		■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)		75	%			
		■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)		86	%			
		■進学者数		2	人			
		■その他						
		就職斡旋辞退						
(令和 6 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和6年度卒業生)								
印刷会社、広告代理店、写真館、サイン会社								
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				0		
評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL				
当該学科のホームページURL		https://www.ryoma.ac.jp/rdb/graphic/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		(A: 単位時間による算定)						
		総授業時数				2,146 単位時間		
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				60 単位時間		
		うち企業等と連携した演習の授業時数				〇〇 単位時間		
		うち必修授業時数				60 単位時間		
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				60 単位時間		
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				〇〇 単位時間		
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				〇〇 単位時間		
		(B: 単位数による算定)						
		総単位数				0 単位		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				〇〇 単位				
うち企業等と連携した演習の単位数				〇〇 単位				
うち必修単位数				〇〇 単位				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				〇〇 単位				
うち企業等と連携した必修の演習の単位数				〇〇 単位				
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				〇〇 単位				
教員の属性(専任教員について記入)		① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				2 人		
		② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				0 人		
		③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人		
		④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人		
		⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人		
		計				2 人		
		上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				3 人		

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

グラフィックデザイン科では、広告制作やプレゼンテーションのできるグラフィックデザイナーを養成することを教育目的としており、デザイン業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

別添の「龍馬デザイン・ビューティ専門学校組織規定」のとおり、教育課程編成委員会（以下「委員会」という）は、校長直轄の組織として設置しており、カリキュラム改善に対する意見を企業等の役職員及び有識者から聴取し、これを基に校長以下、マンガ科の担当でカリキュラムの改善について検討し、次年度に向け改善を図っていくこととしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
中西 康廣	校長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
大久保 光洋	副校長兼事務局長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
岩神 義宏	教務部長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
藤原 史	教員	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
高橋 和之	TCG土佐クリエイターズギルド運営委員長 (グラフィックデザイン事務所 代表)	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	①
山崎 肇	ゴーゴーデザイン事務所代表	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	②
岡崎 はるか	株式会社 haute couture	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月31日 16:00～17:00

第2回 令和7年3月4日 13:00～14:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見交換で出た事案の中で、短期的・中期的・長期的に取り組めそうな内容に精査し、可能なものから実際にカリキュラムに反映させた後、学生の意見もアンケートで集約し改善を加えて行なっている。

プロのクリエイターなどを講師に招き講義などを実施していく。

卒業生の講義や企業に出向いて、最新の印刷技術や工程の現場見学を行う。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

最近の技術動向を踏まえ、現場で必要な知識・技術を具体的に身に付けさせるため、出版社や企業へのヒアリング等を通じて重要項目や課題を抽出し、その結果にもとづいた解決・改善内容を実習や演習内容に反映できるよう出版社や企業と連携しながら計画を進める。また実習・演習等の実施後には出版社や企業及び学生からの報告を元に、その効果を検証しながら改善を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

グラフィックデザイン科では、広告制作やプレゼンテーションのできるグラフィックデザイナーを養成することを教育目的としており、デザイン関係団体及デザイン関連企業の役職者等を教育課程編成委員会委員に選任し、デザイン業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
広告実習 C.I.実習	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	新聞や雑誌のオリジナル広告の企画書から実際にラフ・カンブ、ポスターを制する。制作した広告物に対して講師と教員が協議しA～Dの4段階評価を行う。	ツツキデザイン

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 学則施行細則の龍馬デザイン・ビューティ専門学校教職員研修規定により、当校が実施する研修は、①新任者研修、②管理職研修、③養成研修に分けて行われており、県内外の各科に関わる業界関係団体や、教育関係団体が主催する研修などに積極的に参加させている。研修等の参加に当たっては、校長又は部門の長が本人のキャリアや適性、意欲等を考慮し、また学校全体の状況等も踏まえ、戦略的に研修を計画している。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	キャラクターは自分だ	連携企業等: なし
期間:	2024/4/26～4/26	対象: グラフィックデザイン学科の学生
内容	フィギュアイラストレーターのデハラユキノリ氏を迎え、キャラクターデザインの仕事を実習を通じて学び、作品講評をしてもらう	
研修名:	東京研修	連携企業等: 0
期間:	2024/9/3～9/6	対象: グラフィックデザイン学科の学生
内容	大規模展覧会などを観覧し、最新の企画・広報・展示について学ぶ	
研修名:	アナログ手法で、表現の幅を広げよう	連携企業等: 株式会社 garden
期間:	2025/2/15～2/15	対象: グラフィックデザイン学科の学生
内容	デザイナーの新村則人氏を迎えグラフィックデザイナーの考え方・仕事のあり方についてを学び、作品講評をしてもらう	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	「アクティブラーニング」「デザイン思考」	連携企業等: 一般社団法人REIONE
期間:	2024/12/25 13:00～	対象: 龍馬学園教員
内容	思考フローの考え方について学ぶ	
研修名:	生成AI「Copilot」の活用方法	連携企業等: なし
期間:	2024/12/25 10:00～	対象: 当校全教職員
内容	生成AIとは何か、どのような使い方なのか、注意する点など	

(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： 東京研修		連携企業等： なし
期間： 2025/6/24～6/27		対象： グラフィックデザイン学科の学生
内容 大規模展覧会などを観覧し、最新の企画・広報・展示について学ぶ。卒業生企業への訪問など。		
研修名：	0	連携企業等： 0
期間：	0	対象： 0
内容 0		
研修名：	0	連携企業等： 0
期間：	0	対象： 0
内容 0		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名：	0	連携企業等： 0
期間：	0	対象： 0
内容 0		
研修名：	0	連携企業等： 0
期間：	0	対象： 0
内容 0		
研修名：	0	連携企業等： 0
期間：	0	対象： 0
内容 0		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の向上につながる学校運営や教育活動の改善に関しては、短期的な計画を立て迅速に対応し、学生支援、教育環境の改善など学生や保護者に対する満足度の向上につながる改善及び社会や地域への貢献に関しては、継続的な取り組みができるよう体制を整える。地域のニーズに対応する学科の改編や新設及び財務の安定化に関しては、中長期的な計画に基づき積極的な姿勢で臨む。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	【抜粋(別紙参照)】1. 学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等) 2. 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等) 3. 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)
(2) 学校運営	【抜粋(別紙参照)】1. 組織機能図があるか。 2. 学校の年間スケジュールはあるか。 3. 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。
(3) 教育活動	【抜粋(別紙参照)】1. 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。 2. カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等) 3. カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。
(4) 学修成果	【抜粋(別紙参照)】1. 学生の就職に関する目標を設定したか。 2. 学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。 3. 学生の就職活動に関する記録がなされているか。
(5) 学生支援	【抜粋(別紙参照)】1. 入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。 2. 入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。 3. 担任による面談が定期的に行われているか。
(6) 教育環境	【抜粋(別紙参照)】1. 図書室・図書コーナー等があるか。 2. 学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。 3. 就職支援を行う指定された場所があるか。
(7) 学生の受入れ募集	【抜粋(別紙参照)】1. 学校案内等には育成人材像が明示されているか。 2. 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。 3. 学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。
(8) 財務	【抜粋(別紙参照)】1. 年度予算、中期計画が策定されているか。 2. 予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。 3. 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。
(9) 法令等の遵守	【抜粋(別紙参照)】1. 定期的に防災訓練を実施しているか。 2. 個人情報保護規程が文書化されているか。 3. ハラスメントに関する規定が文書化されているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	【抜粋(別紙参照)】1. 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。 2. 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。 3. 上記において定期的な会合に参加しているか。
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
自己点検・評価結果をもとに、学校運営に関わる意見を様々な視点から広く聴取し、早期に改善を図るべき事項と中長期に対処すべき事項を区別した上で、当校の教育の質を維持・向上させるために、具体的な学習環境や教育体制の整備計画を立てて、実行していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
菅井 智恵	保護者	令和4年8月1日～令和6年7月31日(2年)	PTA
元吉 太郎	旭二丁目町内会	令和4年8月1日～令和6年7月31日(2年)	地域住民
山下 智徳	建築生活空間研究企画室 代表 建築関係	令和4年8月1日～令和6年7月31日(2年)	業界関係者
高橋 和之	グラフィスデザイン事務所 代表 グラフィックデザイン関係	令和4年8月1日～令和6年7月31日(2年)	卒業者
國澤裕貴	高知県自動車整備振興会理事	令和4年8月1日～令和6年7月31日(2年)	地元企業関係者
山本 晋爾	株式会社RT 代表取締役社長	令和4年8月1日～令和6年7月31日(2年)	地元企業関係者
岡崎 はるか	株式会社 haute couture	令和7年8月1日～令和9年7月31日(2年)	地元企業関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業者等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: <https://www.ryoma.ac.jp/disclosure/>
公表時期: 令和7年7月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と密接かつ組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を学生に提供することを目的として、企業等の学校関係者に対して、学校の教育活動、その他学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学園概要、学校紹介、校訓(校長挨拶)
(2)各学科等の教育	学科紹介・概要(目指す仕事・目標資格・年間スケジュール等)
(3)教職員	教員名簿
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職指導・就職サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	キャンパスライフ、施設・設備
(6)学生の生活支援	龍馬学園奨学金、さくら奨学金、学園指定・推薦ワソルームマンション
(7)学生納付金・修学支援	入学金・学費、学費サポート(特待生制度・各種奨学金制度)
(8)学校の財務	資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己点検評価結果・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ryoma.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月1日

授業科目等の概要

(工業関係専門課程 グラフィックデザイン学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			MAC Photoshop実習	Photoshop CC に関する基本的な使用方法や知識を身につけ、検定練習や作品の制作を行う	1 前後	108		△		○	○		○		
2	○			MAC Illustrator実習	Illustrator CC に関する基本的な使用方法や知識を身につけ、検定練習や作品の制作を行う。	1 前後	108		△		○	○		○		
3	○			業界実習	マナーから想像力を育みコミュニケーション力、ヒアリング力を高める	1 前後	64		○			○		○		
4	○			広告実習 1	企画立てから制作を通じて、グラフィックデザイナーに必要なとされる思考力と、それを的確に表現するための制作技術（サムネール・カンブ等）について学習する。	1 前後	72		△		○	○			○	
5	○			デザイン考察	グラフィックデザイナーの仕事を理解し、課題を解決する力を身につける	1 前後	72		△		○	○		○		
6	○			広告論 1	広告等、商業デザインとは何かを理解させていきます。イラストや写真、コピーなどをコンセプトに沿って組み合わせることにより効果的な広告が出来上がるということを伝えていきます。	1 前後	60		△		○	○			○	
7	○			色彩演習	色彩に関する基本的な理論や体系的な知識を身に付ける。カラーカード・絵具（画材）などを使用する実習を行う。	1 前後	96		△	○		○			○	
8	○			デッサン	人物クロッキー、鉛筆デッサン	1 前後	108				○	○			○	
9	○			コピー&プランニング 1	グラフィックデザイナーに求められる上記の基礎を身に付けるとともに、広告における企画の立て方、情報収集/発信の仕方、最新メディア事情などを学びます。文章を書くことが身近になる・好きになる授業を目指します。	1 前後	72		○		△	○			○	
10	○			写実実習	写真とデザイン	1 前後	96		△		○	○			○	
11	○			一般教養	前期は、各科で必要とされる基本的な国語、数学、現代社会についてそれぞれの重要な項目について再確認をし、問題演習等を通じて就職試験にも備える。国語、数学、現代社会について基本的な事項について理解する。	1 前後	36		○			○			○	
12	○			VD実習	広告制作に必要な企画力・デザイン力を養うために、高知県展への出品をはじめとする課題を通じて制作の仕方を学んでいく。	1 前後	32		△		○	○			○	
13	○			WEBデザイン1	ウェブサイトの構造やHTML5/CSS3の基本的な知識を学び、ウェブサイト制作のための準備を行う。テキストエディタを使い、HTML5/CSS3のマークアップを学ぶ。（Adobe Dreamweaverを使用）ウェブデザインカンブから画像を描き出し、実践的なマークアップを行う。	1 前後	64		△		○	○			○	

14	○		表現実習	ビジュアル制作における様々な表現方法を身につける。	1 前後	108		△		○	○		○		
15	○		写真実習2	写真表現の幅を感じる。 またそのバリエーションをどうデザインに生かすかを各々が考える。	2 前後	108		△		○	○	○		○	
16	○		コピー&プランニング2	グラフィックデザイナーに求められる「言葉を聞くチカラ、読むチカラ、書くチカラ、編むチカラ」の基礎を身につけると共に、広告における企画の立て方、情報収集/発信の仕方、最新メディア事情などを学ぶ。文章を書くことが身近になる・好きになる授業を目指す。	2 前後	72		○		△	○			○	
17	○		広告実習2	広告論と連動して、企画した案をMacで制作。テクニックや作業スピードの向上、さらにデザイン実務のノウハウも合わせて伝えていく。	2 前後	72		△		○	○			○	
18	○		DTP実習	DTPについての基本的な操作方法や知識を学び、実践的なデザインテクニックと表現方法を習得していく。《基本使用ソフト→イラストレーター&フォトショップ（画像修正など）》	2 前後	60				○	○		○		
19	○		インデザイン実習	Illustrator・Photoshopで作成したデータをInDesignを使って印刷可能なデータとして作成し、広告デザインを行う。より洗練された告知効果のある広告を作成する技術を習得する。複数のソフトを渡り歩く操作による表現の修得を目指す。	2 前後	72				○	○		○		
20	○		WEBデザイン2	Illustrator・Photoshopで作成したデータをDreamweaverを使ってWEB上に公開する。WEBの仕組みを理解しより新しい形のWEBシステムに対応したデザインを修得する。3つのソフトを渡り歩く操作による表現の修得を目指す。	2 前後	96		△		○	○			○	
21	○		モーショングラフィックス	1年次で学習したPhotoshopの応用技術を身に付ける。 AfterEffectsを使用したインフォグラフィックムービーの制作技術を身に付ける	2 前後	72		○	△		○			○	○
22	○		タイポグラフィー	広告(アドバタイジング)における文字の役割と機能について学習する。	2 前後	72		○	△		○			○	
23	○		CI実習	コーポレートアイデンティティにおける主にヴィジュアルデザインの演習。伝えるべきものの本質を捉えてビジュアルに置き換え、見る人が共感できる表現力を身につける。	2 前後	60		△		○	○		○		○
24	○		VD実習	グラフィックデザイナーに必要な技術、知識、仕事への取り組み方を課題制作を通じて学習する。校内・外部から頼まれた広告物全般の制作。	1 前後	90				○	○		○		○
25	○		業界実習	基本的な電話対応や失礼のないメールの送信ができるようになること。デザイン業界について知識を深める。 効果的なポートフォリオ制作のための知識を身に付けること。	2 前後	72		○			○		○		
26		○	アドバタイジング	ロゴマーク、ポスターやフライヤーなどの広告媒体をテーマに基づき制作。ターゲットに訴えかけるための方法をいろんな角度から考える。	2 前後	204		△	△	○	○		○		
27		○	イラストレーション	挿絵、本の装丁、絵本などの制作を通して、様々なニーズに対応できるイラストレーションについて学ぶ。《デザイン、印刷までを意識したイラストレーション》	2 前後			△		○	○		○		
合計					27	科目	2146 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：各授業科目に係る出席時数が実授業時間数の10分の9以上かつ各授業科目		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：必修科目の全てを2年間で受講する		1 学期の授業期間	12後24 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。